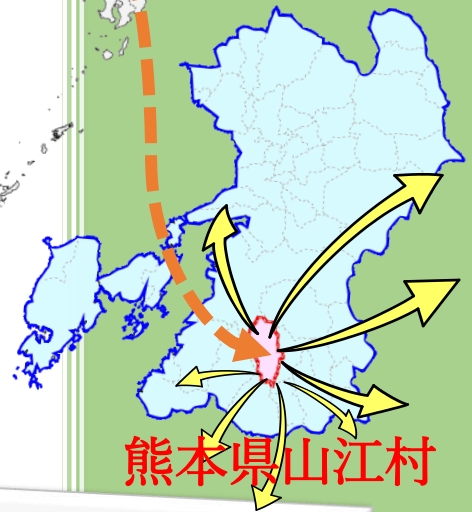


熊本



夢を叶える 山江村教育プラン



山江村教育委員会

令和2年4月

夢を叶える山江村教育プラン

山江村に誇りを持ち、夢ある教育の実現を目指す

キーワード：「命」「夢」「愛び」

- 1 自他の命を大切にできる教育の推進
- 2 確かな学力、豊かな心、健やかな身体の育成
- 3 地域とともにある学校づくり
- 4 郷土を愛し、国際的視野を持った人づくり
- 5 教員の「働き方改革」の一層の推進

1 自他の命を大切にできる教育の推進

- 命の大切さを学校教育の根底においた取組の推進
- 安全教育の充実と事故防止の徹底
- 命を大切にできる心10ヶ条の徹底
- 学校防災教育の充実と学校防災体制の強化

2 確かな学力、豊かな心、健やかな身体の育成

(1) 確かな学力

- ICTを活用した授業改善
- 学力向上アクションプランの策定と実践
- 小学校英語科教育の先行実施
- プログラミング教育の推進
- 中学校における英検資格取得の推進

(2) 豊かな心

- 「特別の教科 道徳」の確かな実践による道徳的実践力の育成
- 豊かな人権感覚を持った児童生徒の育成
- 体験活動の充実と積極的な生徒指導の推進
(子供の居場所推進テーブルの実践)
- いじめや不登校の未然防止と解消 (SOSの出し方教育の推進)

(3) 健やかな身体

- 体力向上に向けた「体力テスト」の授業等における活用と取組
- むし歯予防の徹底と治癒率の向上
- 教育活動全体を通じた「食育」の推進 (給食の地産地消化)

3 地域とともにある学校づくり

- 地域とともにある学校づくりの推進 (コミュニティ・スクール)
- 郷土教材「わたしたちの山江村」デジタル版の積極的活用
- 育ちを繋ぐ保育園・認定こども園・小・中学校の連携の推進
- 防災に対する学校・家庭・地域連携の強化
- 改訂版「やまえ」の家庭教育10ヶ条の普及・啓発
- 家庭や地域との連携によるキャリア教育の推進
- 児童虐待防止へ向けた啓発と家庭・地域・関係機関との連携

4 郷土を愛し、国際的視野を持った人づくり

- 山江村の文化遺産や伝統芸能等への理解と継承
- 中学生語学研修による国際交流の推進
- Web会議システムを活用した村内外学校及び外国との交流の推進

5 教員の「働き方改革」の一層の推進

- 「やるとっきや集中、元気の職場」「いつでも笑顔、明るい職場」の実現

1 自他の命を大切にする教育の推進

命を大切にする教育を基盤に据え、学校安全に関わるすべての教育活動の危機管理を推進する。

●命の尊さを学校教育の根底に置いた取組の推進

安全管理は、学校安全を「生活安全」「交通安全」「災害安全」から捉え、地域の特性を踏まえて、全教職員で総合的に進める。

●安全教育及び安全管理の充実と事故防止の徹底

学校の施設及び設備の安全点検、児童・生徒の通学安全、その他の日常生活における安全に関する指導、職員の研修等について計画を策定し、これを実施する。



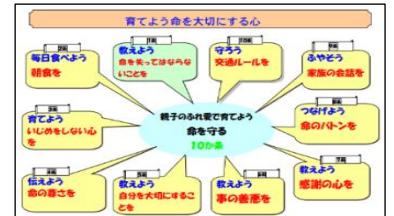
「生きる力」をはぐくむ 学校安全教育(図1)

●学校防災教育の充実と学校防災体制の強化

火災や地震、火山活動、風水害、落雷等の気象災害、土砂災害など様々な危険について、消防計画や非常変災その他急迫の事態に備えて防災計画を作成し実行する。

●命を大切にする心 10ヶ条の徹底

「命を大切にする心 10ヶ条」を定め、各教科等の安全に関する内容を整理し、年間を通して各系統的・体系的な安全教育を計画的に進める。



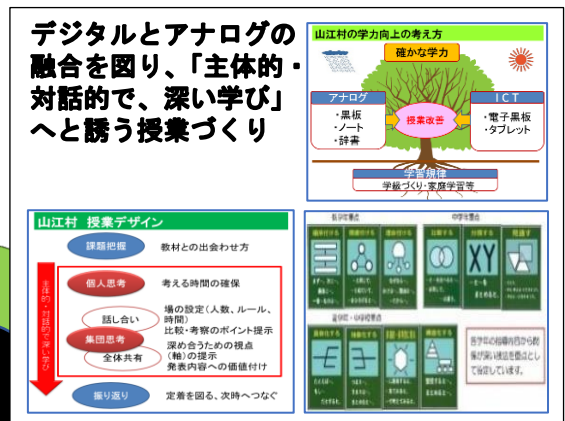
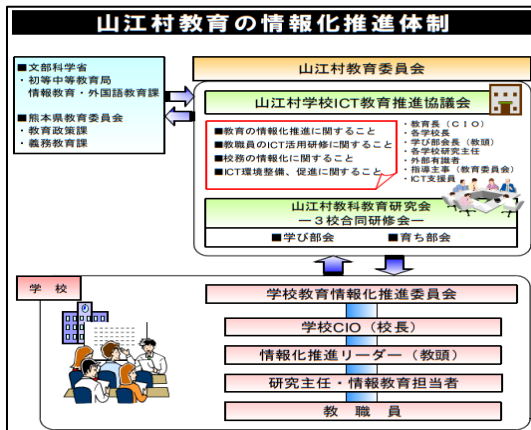
命を大切にする心 10ヶ条(図2)

2 確かな学力、豊かな心、健やかな身体の育成

(1) 確かな学力の育成

情報時代 (Society5.0) の到来を踏まえて、デジタルとアナログの融合を図りながら、山江村の特色を生かした「確かな学力」の育成に努める。

- ICTを活用した授業改善及び学力向上(10年の軌跡をたどる)
- 学力向上アクションプランの策定と実践(全学調・県学調でのエビデンス)
- 「熊本の学び」推進プランの活用推進
- 英語教育を通じた英語によるコミュニケーション能力の育成
- 中学校における英検資格取得の推進(中学校卒業時英検3級資格取得60%目標)
- プログラミング教育の推進



確かな
学力
の育成

AIを活用した英語ドリル ⇒

⇐ 英検資格取得を目的とした地域未来塾

プログラミング教育の推進

分類A: 5年算数科「円と正多角形」

めあての確認

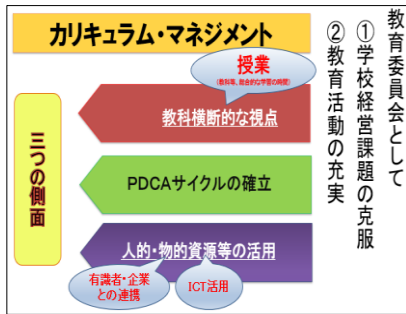
スクラッチを使って作図の組み立て

試してみる

きまわりを整理

確かな学力の育成のための取組(図3)

学校目標の実現に向けて、カリキュラム・マネジメントを行いながら、ICTを活用した授業改善とともに、児童生徒の情報活用能力の育成を図る。



学校教育目標の実現に向けたカリキュラム・マネジメント(図4)

令和元年度

山江村小学校(高学年) 情報活用能力育成 年間計画

情報活用能力育成の重点目標(高学年)
 ①様々な情報手段を活用し、必要な情報を選んで調べたり、目的に応じて様々なソフトや機器を選んで表現したりできる。
 ②コンピュータやインターネットの特性を理解し、生活や学習において得た情報を適切に活用することができる。
 ③ネット社会の光と影への理解を深めるとともに、人権や著作権等、活用にあたって様々な事への配慮が欠かせないことを理解し、適切な情報モラルを身に付ける。

第5学年

学習目標	学習内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
活動スキル	情報の集め方、発掘したりする際、手段の特性を意図して活用することができる。	【国語】A5 「読んで、あなたのこと」 「書いてきて書いてみよう」	【国語】A4 「年賀状を渡そう」 「私がもつながら私たちの読書」	【理科】A3 A4 「あだかの産生」 「自由研究」 「台風と気象情報」	【国語】A3 「朝日をつくるわ」 「たしたち」	【体育】A1 「器械運動など」	【国語】A3 「グラフや表を用いて書こう」	【理科】A1 「洗える水の働き」	【社会】A3 「自販機をつくる工業」	【国語】A3 「グラフや表を用いて書こう」	【理科】A7 「もののけけり」			
授業スキル	情報の収集・編集(整理・分析や表現)・発信の過程を組み立て、目的を意図して評価・改善することができる。	【社会】B2 「思い土地の心」 「あたいたち土地の心」 「国土の気候の特色」	【国語】B8 「次への一歩」 「活動報告書」	【国語】B1 「日常を17音で」	【国語】B1 「日常を17音で」	【国語】B1 「日常を17音で」	【国語】B1 「日常を17音で」	【国語】B1~B4 「ふりこのおまじない」	【国語】B5 「あだまじく」 「あだまじく」	【国語】B1 「あだまじく」 「あだまじく」	【国語】B1 「あだまじく」 「あだまじく」	【国語】B1 「あだまじく」 「あだまじく」	【国語】B1 「あだまじく」 「あだまじく」	
プログラミング	コンピュータを使った問題解決や表現活動を通して、情報技術の価値や自らの将来に貢献付けて考えることができる。	【社会】C4 「国土の地形の特色」	【社会】C1 「世界の国土」	【家庭】C4 「おいしい!おいしい調理の力」	【国語】C2 「敬語」			【国語】C1 C5 「音のスケッチ」	【国語】C1 C5 「音のスケッチ」	【国語】C1 C5 「音のスケッチ」	【国語】C1 C5 「音のスケッチ」	【国語】C1 C5 「音のスケッチ」	【国語】C1 C5 「音のスケッチ」	
情報モラル	情報社会の価値や課題を認識し、情報手段を適切に活用しようとしている。	【家庭】D3 「我が家にズーム」	【道徳】D2 「著作権について知ろう」					【国語】D4 「ゲームなど」	【国語】D4 「ゲームなど」	【国語】D4 「ゲームなど」	【国語】D4 「ゲームなど」	【国語】D4 「ゲームなど」	【国語】D4 「ゲームなど」	

山江村情報活用能力育成表(図5)

(2) 豊かな心の育成

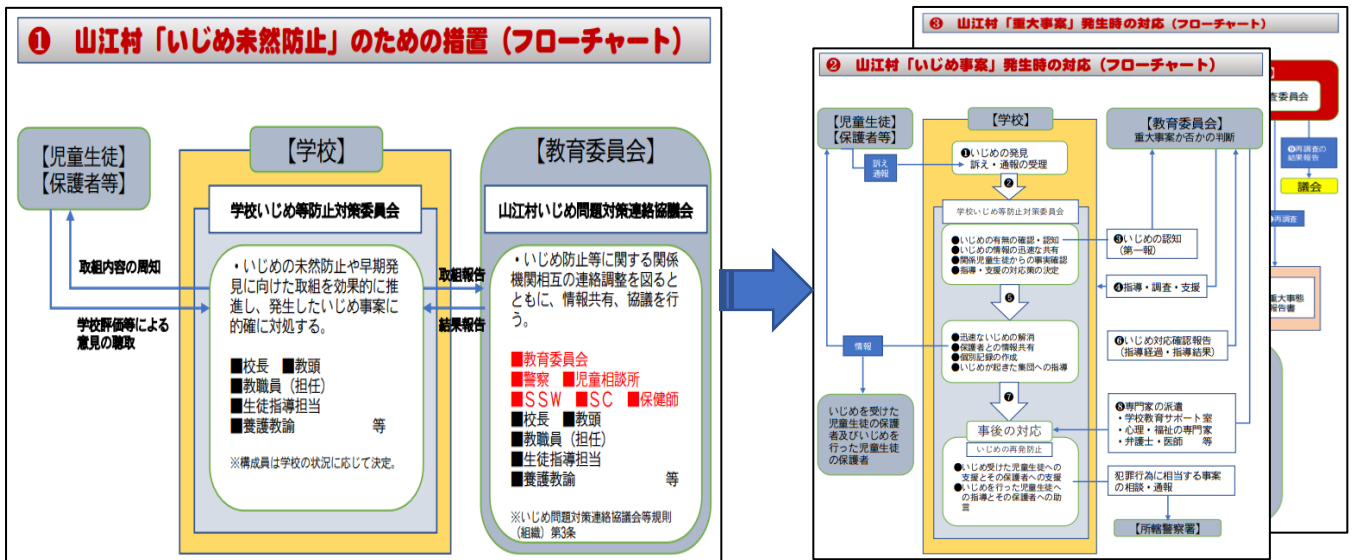
- 「特別の教科 道徳」の確かな実践による道徳的実践力の育成
- 豊かな人権感覚を持った児童生徒の育成
- 体験活動の充実と積極的な生徒指導の推進
(一人一人が存在感のある学級づくり)
- いじめや不登校の未然防止と解消
(SOSの出し方教育の推進)

豊かな心の育成は、道徳の授業を要に、すべての教育活動の中で道徳的実践力の育成に努める。特に、道徳用郷土資料「くまもとの心」や熊本地震関連教材「きずな」を積極的に活用する。様々な体験活動との関連を整理し、「考え、議論する道徳」への転換を図る。

いじめや不登校の未然防止と解消は、愛の1・2・3運動+αを心掛ける。また、「山江村いじめ問題対策連絡協議会等規則」を設定し、学校と家庭、地域、関係機関の連携のもと組織的・継続的にいじめ問題に取り組む。「いじめ対応の基本的な流れ」を明確にし、「いじめの未然防止」「いじめの早期発見・早期対応」「いじめが起きたときの対応」の3つ流れを想定して進める。



熊本地震関連教材「きずな」を活用した遠隔の授業-山江中-(図6)



山江村いじめ対応マニュアル(図7)

(3) 健やかな身体の育成

健やかな身体の育成は、「体力向上」「むし歯予防」「食育」の3つの柱で取組を進める。

- 体力向上に向けた「体カテスト」の授業等における活用と生涯体育への取組
- むし歯予防の徹底と治癒率の向上
- 教育活動全体を通じた「食育」の推進（給食の地産地消化）



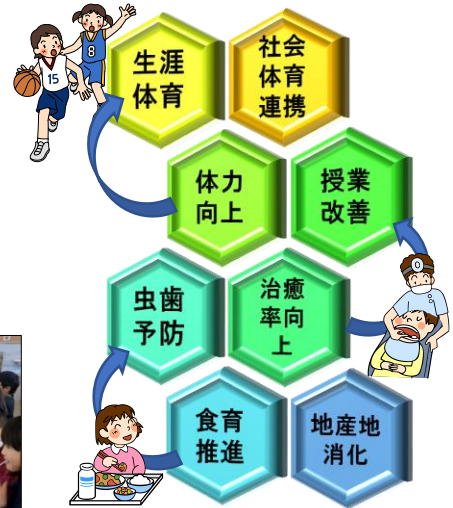
総合運動クラブへの参加（図8）



山江村食育ランチョンマットの活用（図9）



生産者との給食交流（図10）

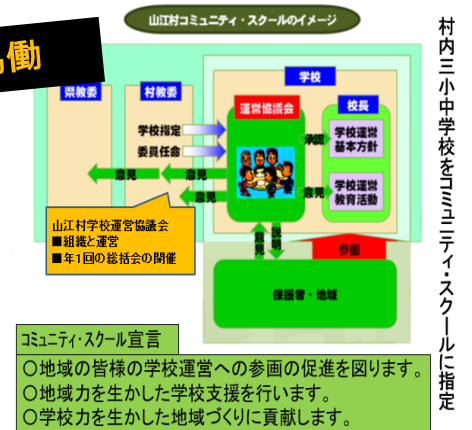


健やかな体の育成図（図11）

3 地域とともにある学校づくり

- 地域とともにある学校づくりの推進（コミュニティ・スクールの推進）
- 郷土教材「わたしたちの山江村」デジタル版の積極的活用
- 育ちを繋ぐ保育園・認定こども園・小・中学校連携の推進
- 防災に対する学校・家庭・地域連携の強化
- 改訂版「やまえ」の家庭教育10か条の普及・啓発
- 家庭や地域との連携によるキャリア教育の推進
- 児童虐待防止へ向けた啓発と家庭・地域・関係機関との連携強化

連携・協働



コミュニティ・スクール図（図12）

地域とともにある学校づくりは、村内小中学校3校の学校運営協議会の機能を生かす。未来に生きる児童生徒の将来に向けて、五者（学校、家庭、地域、関係機関、子供）が連携・協働しながら教育活動を進める。



3・4年社会科
郷土教材デジタル副読本
「わたしたちの山江村」（図13）



山江村家庭教育10か条（図14）

3・4年社会科デジタル副読本「わたしたちの山江村」は、郷土教材をデジタル化したもの。いつでも、どこでも、繰り返し活用できることが魅力であり、地域の実態とそのよさを生かしながら、学習を進めることができる。学習指導要領改訂時にも対応できるものである。

「やまえの家庭教育10か条」は、児童生徒の生活のきまりの指標とし、家庭教育における課題に応じた啓発資料として活用する。

4 郷土を愛し、国際的視野を持った人づくり

- 山江村の文化遺産や伝統芸能等への理解と継承
- 中学生語学研修による国際交流の推進
- Web会議システムを活用した村内外学校及び外国との交流の推進



扇踊り・棒踊り・東浦臼太鼓踊り



長野県喬木村との遠隔学習



シンガポール海外語学研修

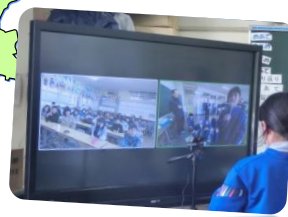
郷土理解 ⇒ 異文化理解・国際交流



山江村と喬木村の遠隔学習(図15)

長野県
喬木村

山江村



扇踊り・棒踊り・東浦臼太鼓は、山江村唯一の伝統芸能である。地域の指導を仰ぎながら継承していく。

長野県喬木村との遠隔学習では、自分が住むふるさとのよさに気づくとともに、ICTを活用してそのよさを自ら発信していく学習を推進する。

英検3級取得者を中心に、海外語学研修派遣(シンガポール)の機会を設け、異文化理解、国際交流を図っていく。また、年間を通して県内の大学に通う外国人留学生との交流活動を進めていく。将来は、英検3級取得60%超を目指す。



熊本学園大学外国人留学生との交流活動-万江小-(図16)

5 教員の「働き方改革」の一層の推進

- 校務支援システムの導入
- 教職員勤務時間管理システムの導入
- RSAログインシステムの導入



校務支援ソフトを活用した通知表・指導要録(図17)



勤務時間管理システムにより自己の働き方をマネジメント(図18)

「やるとつきや集中、元気な職場」「いつでも笑顔、明るい職場」をモットーに、業務そのものの見直しとICTの積極的な活用を図りながら、より一層働き方改革を推進していく。

校務支援システムを導入して、業務の負担を軽くし業務の効率化を図る。また、教職員勤務時間管理システムを導入して自己の働き方をマネジメントできるようにする。

RSAログインシステムは、自宅でも学校のサーバーにアクセスができ、自宅での業務が可能となる。いつでもどこでも業務にあたる事ができることが魅力である。

様々な校務の情報化を導入することで、子供と向き合う時間を増やし、教育の質の向上を図っていく。



子供と向き合う時間の確保(図19)

計画の性格

- 教育基本法第17条第2項に基づき策定する教育振興基本計画である。
- 計画期間は、令和2年度から令和6年度までの5年間とする。